

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良市立二名幼稚園 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 631-0072

奈良県奈良市二名一丁目3772番地

E-mail kg-nimyo@city.nara.ig.jp

Website http://www.naracity.ed./kin02/index.cfm/10.html

幼児児童生徒数 男子 17 名 女子 29 名 合計 46 名

幼児・児童・生徒の年齢 4歳～5歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当園は、「笑顔いっぱい二名っ子」を目指す幼児像として、地域の教育力を活かし人との出会いを通して、地域で学んだことを誇れる幼児の育成を進めてきた。

E S Dを「地域の中で生き生きと生活する幼児」と捉え、E S Dの実践を通して「心豊かでたくましく生きる幼児」の育成を目標とした。

具体的には、地域の文化・世界遺産、環境、食育を柱に、①地域や奈良を知る活動、②環境にかかわる活動、③食育にかかわる活動を行った。

① 地域の文化・世界遺産を知る活動

〈トレドの森を知ろう〉

春と秋の年2回、校区の二名公民館敷地内にある「トレドの森」に園外保育に行き、トレドの森の成り立ちを知る機会となっている。二名公民館の館長さんからオリーブの木の話を聞き、一度は枯れてしまったと思った木が、小さな芽を出し力強く大きくなっているという話に生命の大切さを感じることができた。

〈地域の杵築神社に行く〉

地域の神社として幼児には身近な存在であるが、地域の方から普段はあまり入らない水神様の祠に案内してもらい、水の神様で地域の中で大切な神様であることを知り、地域へ親しみを感じる機会となった。

〈世界遺産学習〉

地域の方と一緒に、東大寺大仏殿・二月堂に行き、地域の方とかかわりながら、身近にある世界遺産にふれることで奈良を誇りに感じる機会となった。

〈御嶽山節分祭に参加〉

地域にある御嶽山の節分祭に参加することで、日本の伝統行事に触れる機会となった。

② 環境にかかわる活動

〈花いっぱいになあれ〉

地域の人と一緒に、花を植えたことで、園内が華やかになり、幼児は地域の方への感謝の気持ちや育てることの大変さを体験した。

また、地域の方の指導の下、アレンジメントに挑戦し、幼児なりに工夫をしながら生けることができた。自分たちのアレンジメントで園内を飾り、多くの方に見てもらい褒めてもらったことで、達成感や自信に繋がった。

日々の保育の中で、園庭や登園途中に見つけた花を手に取り、図鑑で調べたり保育室に飾ったりする姿が見られ、自然に対して興味・関心をもっている。

③ 食育にかかわる活動

〈栽培活動を通して〉

タマネギ・サツマイモ・スナックエンドウなど1年を通して園内で栽培収穫することで、食べ物を大切に扱う姿や好き嫌いが少なくなるという成果がみられるようになった。

〈給食の話を知ろう〉

栄養士の先生と連携し5歳児を対象に、小学校進学前に給食についての不安を軽減するため、話を聞いた。具体的な給食の流れやメニューについての内容であり給食に対する期待が膨らんだ。



① 地域の杵築神社で地域の方に話を聞く。



② 地域の方と一緒に園庭に花を植える。



③ 栽培物の収穫を喜ぶ。



③ 給食の話を知ろう。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 保育時間)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

・二名公民館作成「トレドの森のオリーブ」資料（手作り絵本）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

年度当初に職員間でユネスコスクールとしての取組について共通理解や意見交換の機会をもち、取組内容の検討を行う。その中で、幼児一人一人の発達段階を明確に把握し、幼児の実態に沿った具体的な内容の精選を行う。

指導内容の充実に向け、幼児自ら進んで活動に参加できるような事前の保育内容の工夫や地域の方々との十分な打ち合わせ等を行うように努めた。また、活動後の反省と成果を教職員で話し合い、随時指導計画の見直しを行い、来年度の計画に反映している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域の方々の教育力を活用する取組を中心に活動を行っているため、地域の方々への啓発と取組についての理解を求め、協力を依頼する。また、幼稚園としての活動に対する取組の目的を明らかにし、打ち合わせを密に行う。地域の会議等に出向き、意見交流を行うことで、地域の活動を知り園内の活動内容の充実にも努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

保護者へのアンケートを12月に行い、学校評議員からの評価を年度末に行っている。保護者からは、地域の方々が協力的であること、様々な活動を通して、豊かな経験が出来ていることに対して、高い評価を得ることができた。しかし、活動内容には満足しているが、活動したことでのどのようなことが育っているのか分からないという思いをもっている保護者もあり、的確な情報発信が必要であると考えている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

園だより・クラスだより・HP等で情報発信を行い、地域の会合等に出席し幼稚園の取組について説明や協力を求めている。地域の中で、自分の出来ることを園の活動に活かしたいという思いをもって、保育に参加する地域の方が増えてきている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

幼稚園以外の団体との協働等は、現在は行っていない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成は、現時点では行っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

地域の教育力を活用することで、人とのつながりが多くなり、幼児は地域の中で安心して生活できている。また、自分から挨拶をしたり、話し掛けたりし、コミュニケーションの力の育成にも繋がっている。保護者からは、様々な経験が出来ることに対して、高い評価を得ている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

地域の中で生き生きと生活する幼児を目指して、世界遺産学習・地域遺産・文化遺産などの良さを感じる体験活動を行う。

世界遺産学習：東大寺大仏殿・二月堂を地域の方がと見学し世界遺産にふれる。

地域遺産学習：地域の神社に出かけ、地域の方から説明を聞いたり、行事に参加したりする。

文化遺産学習：奈良のわらべ歌遊び、奈良の昔話を聞く等、奈良の良さを身近に感じる体験を行う。

地域の方とのふれあい

：地域の自然を活用した遊び体験。

：地域の高齢者との交流。